

日時：2014 年 12 月 10 日(水) 10:30~17:00
 場所：連合会館 203 号 千代田区神田駿河台 3-2-11

I. 開会 司会進行 大代専務

II. 会長挨拶 建築業界では仕事があふれている一方で、「墓じまい」という石材業界にとっては喜び難い言葉が出てきた。その言葉が不適切表現となるように業界として活動していきたいと思っています。

III. 議事

1. 議長選出：佐藤副会長 議事録作成人：事務局 長島きよ子
2. 定足数確認
 理事：出席 61 名 (83 名中) 監事：出席 3 名 (3 名中) 顧問：3 名 オブザーバー：2 名
 事務局：3 名 合計：72 名
3. 議事録署名人の指名 副会長：森田浩介 監事：伯井守
4. 資料及び議案の確認、新議題の採択 前回議事録の確認
 新議題の採択：なし

【審議事項】

- (1) 入退会について 大代 審議 P1
 入会：9 名 全会一致にて承認 / 退会：5 名 全会一致にて承認
- (2) 秋田県支部長代行選出の件 佐藤 審議 P10
 <支部長代行者 合資会社佐藤石材工業所 佐藤富幸氏 > 全会一致にて承認
- (3) 【定款委員会】定款事業内容変更上程書 白木 審議 P11
 定款 事業内容について、変更点と言葉の捉えかたの説明。
 全会一致にて承認 2015 年 6 月 第 6 回定時総会に上程
- (4) 【定款委員会】諸規定変更および策定について 白木副会長 審議 P14+P17+別添+訂正 P4
 <定款諸規則の見直し>
 定款変更(案)…(入会)第 7 条 4、第 3 章 役員(任期)第 15 条の変更
 定款施行規則(案)…(地区・部会の事業計画と予算)第 11 条~2、(出張旅費規程)第 14 条、(表彰)第 18 条、(慶弔費)第 19 条、
 役員を選定に関する規則(案)⇒役員の特任に関する規則(案)…第 6 条、第 10 条
 入会審査基準(案)…第 1 条 (4)
 全会一致にて承認 2015 年 6 月 第 6 回定時総会に上程
 <諸規定見直し及び策定>
 事務局就業規則、賃金規則、嘱託規定・嘱託契約書、表彰規定、出張旅費規程について
 上野：退職金準備金は積み立てているのか。⇒していない。再度確認と今後どうするか検討。
 望月：積立義務の法律はないので、規則なくてもよいが、積立や共済などに加入する手段もある。
 会長(補足)：現在の法律に則って、社労士に依頼し費用をかけて作成した。会員にも活用してもらいたいと考えている。
 全会一致にて承認
- (5) 第 6 回定時総会【講師】について 能島/井口功 審議 追加 P5
 岡本達彦氏 講師料予算含め審議 ⇒全会一致にて承認
- (6) 【お墓 D 委員会】1 級取得者研修会について 中村 審議 P18
 研修会内容(日程、場所、講師、予算、研修内容)⇒全会一致にて承認
- (7) 「PRAY for ONE (小さな祈り)」プロジェクト協賛金について 上野 審議 P21
 上野：第 1 段階で作成した CM 上映。第 2 段階ホームページ作成予定。博報堂とのコネクションにより、「祈る心」ムーブメントを起こしたい。
 長江：参加する団体で費用を均一に負担するのではないか。5 団体で行うメリットは。
 上野：同額負担をするわけではない。このプロジェクトを通じ、石産協の認知度を上げたい。また、この中でも中心的存在であるべきと考え、率先的に費用負担していきたい考え。
 新田：石産協のホームページはすでにある。
 上野：プロジェクトの HP と石産協の HP は別のもの。参加団体として紹介し、リンクを貼って連動する。
 柴田：サーバー管理は？ランニングコストはどうするのか。
 上野：他団体で負担していくことになるか、協議中
 越智：順番として、プロジェクトに参加するかをまず協議すべきだったのでは。
 議長：わけて審議
 参加に対する決議 白票 6 反対 0 賛成 5 5 多数にて承認
 予算拠出についての決議 白票 2 7 反対 0 賛成 3 4 にて承認

【協議事項】

(1)【定款委員会】定款変更について(式次第ミスプリ 協議事項から取り下げ) 白木 協議 P25

(2)【定款委員会】入会審査基準(案)及び入会に関する書類一式について 白木 協議 P25

新田：入会審査基準(案)第2条(3)正会員の資格を有しても本人が拒否した場合はどうするのか。

越智：第2条(3)ならなければならないではなく「なる」「理事会で自動承認される」と変更してはどうか。

白木：仮に届け出がなくても、正会員を拒否しても自動変更。罰則規定はない。言い回しは検討する。会員登録の見直しを12月に行い3月までに変更。翌年度に反映。

(3)【定款委員会】入会規定(案)年会費の見直し含む 白木 協議 P29

柴田：準会員はなくてもよいのではないか。

戸高：売上げではなく、かかっている従業員数が50%以上にしてはどうか。

白木：売上と従業員数は比例すると思う。正会員と準会員をあえて構える理由は、準会員は総会の議決権がない、理事就任資格がないことにある。比率が多いまたは営業年数が長い経営者は石材業界に対する考え方や発言が違うと思うから。また、当初は50%以上だったが営業しているうちに50%を割ってしまったことも協議したが、石材にかかっている経験年数を認め、正会員のままとする。

(2)～(3)は一括して協議。来年の総会で審議としたい希望。

議長：重用案件のため支部に持ち帰り十分に協議し来年度1回目の理事会で審議をしていただきたい。

(4)【定款委員会】責任賠償保険制度について 白木 協議 P31

会員福利厚生として上程。ニーズがあるかを会員にアンケート調査(1月15日の石産協通信に同封)。

平川：施行中の保険は加入しているが、施工後いつまで補償されるかによっては加入を検討したい。また、石材店によって「ちゃんと施工した」定義が違う。

越智：金額が不明なため、アンケートに答えにくい。

白木：アンケートには金額表も付ける予定。

(5)【定款委員会】支部運営規定について 白木 協議 P36

新田：支部運営費未納者の対応は。

白木：支部運営費の設定は支部の任意だが、会員は支部に所属することになるため未納は発生した場合は、支部で退会勧告をし、理事会に諮る。

刈岡：競合と同じ支部に所属したくないため本部会員になりたい。また、オブザーバー出席は認められるのか。

白木：支部に所属せず、本部の会員という考え方はないため、選択肢はない。

会長：入会を前向きに検討することを前提に支部会にオブザーバー出席は受け入れてもよいと考える。

加藤(邦)：支部内でもめ、支部長の一存で入会を承認できない場合はどうしたらよいか。

白木：入会審査に支部からのコメント用紙を添付し理事会に上程。正当な理由であれば入会脚下になることも。

清水「支部長宅」が登記されていないと金融機関によっては口座を作ることが出来なかった。

柴田：第2章所属会員第5条の再検討を求める。やはり準会員は必要ないのではないか。

三上：この標準規定が採用され、支部もそれに合わせた場合、第7章にある通り、本部へ届出が必要か。

白木：各支部規定がバラバラなため、統一をはかる目的。支部運営規定(標準)を見直しているため、各支部は持ち帰り現在の支部規定と違っている点を提出して欲しい。まずは情報を集め、見直し、検討を進めたい。

(6)災害時応援協定・災害緊急対応マニュアルについて 大代/白木 協議 P41+追加 P8

<災害協定に関する各県の情報>

協定を結ぶことによってイメージアップにもつながる。団体として災害に取り組む姿勢を考えていきたい。

芳村(京都)：組合で協定を結んだが実際発動したことはない。

三上(北海道)：不明

瀬川(岩手)協定を結んではいないが、震災の時は各自顧客の対応を行った。

齊藤(宮城)：公的団体の支部長ということで協力要請が2件あった。しかし、実際各自が被害を被っていたため、支援どころではなかった。

宗像(福島)：ない

寺尾(高知)：考えていなかったがこの資料を読み、主旨も理解したので支部で進めていきたい。

越智：本部での対応マニュアルの見直しは良いが、本部で一括して協定を結び支部で二重にすることではないか。

大代：各自治体から本部に連絡が来ることはまずない。地元のパイプを作ることが重要と考える。支部が持ち帰り5月の理事会で審議して欲しい。

<「災害緊急対応マニュアル」の見直し>

柴田：災害はどこで起こるか分からないので本部長=会長が被災した場合の事を考え、その都度変更することが出来る内容にした方が良い。

白木：再考します。

議長：十分に支部で議論してください。

【報告・討議・依頼事項】

- (1) 【長野県支部】入会について 長江 報告 資料なし
支部の賛同が得られず、保留になっている入会希望者がいる。引き続き支部で協議。
- (2) 広島災害支援事業について 川本 報告 P44
支援が不要となったことの報告
- (3) 【南関東地区】全体会議開催について 大木 報告 P47
大木：石博に地区として全面的バックアップ。開催地おひぎ元の南関東の石造物や、石材の PR ブース出展。
谷本：国会議事堂に使用した本小松石を PR とともに内部大理石見本は持っているので協力したい。
大木：収支予算書の記入ミスのため訂正を。委託費支出 ¥50,000 ⇒ ¥70,000
- (4) 【東北地区】全体会議報告について 菊地 報告 P49
菊地：参加者、来年度の課題、収支報告
会長：出席したいので開催日程を事前に相談してもらいたい。
- (5) 【北関東信越地区】全体会議報告について 長江 報告 P51
開催内容と決算報告。今後も日本の石を PR したい主旨。
- (6) 【中四国地区】全体会議報告について 本宮 報告 P53
開催内容の報告。反省点：資料だけでなく映像や音声も記録しておけばよかった。
- (7) 【奈良県支部】石灯りの小径報告について 大石 報告 P57
奈良の夏の風物詩、今回で 3 回目。今後も継続していきたい。
- (8) 【兵庫県支部】「先祖の話」解説講演会報告について 能島 報告 P59
能島：石材店にしかできない従来の終活とは違ったものを目指した。新聞プレスリリースだけでは 33 名の応募だったため、DM や口コミで募集し 243 名に。質疑応答も盛況であった。「全国お墓なんでも相談室」ではないため、本部からの事業費はなかった。
- (9) 野間神社宝篋印塔の保全に関わる要望書 野中 報告 P61
1 年以上に亘って検討している案件だが、重文のため、なかなか話が進まない。今にも崩壊しそうなため、愛媛県支部で請け負う。宮司は修復を希望しているが、総代の了解を得られていないため保留になっているが協会として保全に係わる要望書を提出す予定。
白木(補足)支部の収益事業になるため、今後のモデルになるよう理事会に諮りながら進めていきたい。
- (10) 【採石加工関連部会】加工講習会報告について 友常 報告 P69
1~3 回まで京都で行っていたが熱心な要望があり関東にて開催。研修に使う道具の数量と場所のキャバの関係で定員を設けたがそれでも断った経緯があったため次なる開催も考えたい。
- (11) 【関連部会】金箔実技講習会開催について 竹ノ内/湯口 報告 P71
大阪市にて初の開催。手を動かす講習会は人気が高い。決算書をもって改めて提出します。
- (12) 【墓石部会】お墓の取扱説明書売上報告について 佐野 報告 P73
好評をいただいている。部会で意見、情報を集め使い勝手や修正点を検討したい。また、他部会での使用方法についても検討していきたい。
- (13) 【社会調査委員会】相談室 in 岡山 広告費補助について 柴田/福川 報告 P74 差替 P14
福川副会長から説明。
- (14) 【次世代委員会】若手石材人交流事業報告について 山口 報告 P78
石産協の壁を越え開催、大いに PR できた。2 回目開催も考え、全国のストーンフェアなどで輪を広げていきたい。
- (15) 【研修委員会】HP 講師リスト掲載について 大代賢太郎 報告 P82
会員向け HP で公開。ID とパスワードは改めて周知。予算は正副で審議されているが ¥20,000 ⇒ ¥30,000 に。
- (16) 【石博実行委員会】進捗状況について 二上 報告 P85 差替 P15
現場確認をした結果若干のレイアウト変更がある。広告協賛協力と当日の人員支援依頼。石産協通信次号にポスターを同封、各店頭での PR を依頼。
- (17) 【広報委員会】お墓 100 年プロジェクト協賛について 上野 報告 追加 P16
石産協の広報素材としてお墓参りの写真をレンタルポジから使用しているが素材が少なく困っており、広報委員会として募集しようと考えていたため、この企画に賛同したいと考える。
- (18) 全国支部長・地区長連絡会議について 大代 報告 P87+追加 P19
2 月 18 日(水)会議内容と出席者枠を地区担当副会長は 1/27 正副会長会議に提出を。
- (19) 第 6 回定時総会について 大代/井口功 報告 P88+追加 P23
早めに支部会員への呼びかけをし、参加要請を。
三崎：滋賀県支部では下見の後、3 コースからツアーを決定したい考え。
大石：奈良県支部では山川顧問に同行いただく。薬師寺では非公開部分の見学を考えている。40 名予定。
- (20) 自民党「東京政経フォーラム」について 会長 報告 P93
パーティー券購入の経緯報告。

(21) 政経新聞（長崎）掲載記事について 大代 報告 P94

事務局あてに新聞社から掲載記事に関して会員に対する措置の問合せ報告があった。

金子：会員は知らずに仕事を請けている。新聞社の実態もつかめていない。何が目的かわからない。

(22) 会費未納者について 大代 報告 P96

支部で確認を。

(23) 2015 年度予算書について 大代 報告 追加 P97

メール配信済。2015 年 1 月 20 日 期日厳守で提出。

(24) 事務局冬期休暇について (12/27~1/4) 年間スケジュールについて 大代 報告 追加 P28

事業の上程はスケジュールを確認の上、進めてください。

望月顧問

定款、契約書のひな形など会員も活用できるのではないか。今後の活動のためによく検討しぜひ会費の値上げに協力いただきたい。

監事講評 中江監事

特に定款諸規則については協会が前進するために必要なこと、さらなる発展を遂げるだろうと考えます。

IV. 閉 会

※第 6 回正副 2015 年 1 月 27 日（火） 議長予定者：森田副会長

※第 3 回常任理事会 2015 年 2 月 19 日（木） 議長予定者：森田副会長

V. 閉会

2014 年 12 月 10 日

議事録署名人 : 副会長 森田 浩介 ㊟

議事録署名人 : 監 事 伯井 守 ㊟

議 長 : 副会長 佐藤 利男

議事録作成人 : 事務局 長島きよ子